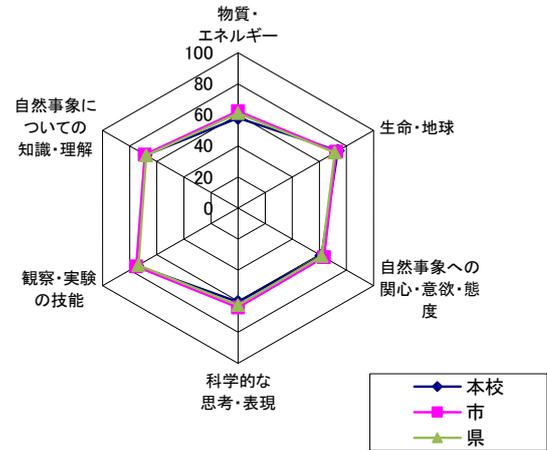


宇都宮市立桜小学校 第5学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	58.0	62.4	61.1
	生命・地球	73.6	72.5	71.4
観点	自然事象への関心・意欲・態度	61.5	63.4	61.7
	科学的な思考・表現	60.5	64.1	62.6
	観察・実験の技能	74.5	75.2	73.5
	自然事象についての知識・理解	68.2	68.8	67.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>○物の体積と温度の関係における正答率は、市の平均正答率とほぼ同等である。特に金属を温めた時や冷やした時の体積の変わり方についての正答率は高い。</p> <p>○電流の性質における正答率が市の平均を大きく上回っている。</p> <p>●物のあたためり方についての正答率は、全体的に低い。</p>	<p>・複数の実験結果を条件ごとに比較し、図や言葉、表などでまとめる活動を行うことで、知識をつなげて考えたり、視覚的に理解できるようにしたりする。</p> <p>・現象を正しく理解させ、言葉と正確に結び付けられるよう、言葉の意味を説明したり、図で視覚的に理解したりできるようにする。</p>
生命・地球	<p>○この領域全体で、市の平均正答率をやや上回っている。</p> <p>○1年間の動物の様子や成長、月と星に関する項目についての正答率が高い。</p> <p>●筋肉の動き方の項目に関する正答率が市の平均正答率を下回っている。</p>	<p>・季節と生物の成長の様子との関係性を理解させるために、季節ごとの生物の観察など、体験型の学習を充実させていく。</p> <p>・動きの内部が見えないものについては、体感させることで、理科の言葉と動きを結びつけるように教材を工夫する。</p>